

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「地域と共に生きるその人らしい未来」という新しい理念のもと当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化している	自己評価のとおり					
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のため の取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおり					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、法人内外の研修を含めた研修計画を作成している 自己学習の推進のため、専門誌の定期購読・配信動画視聴を実施	自己評価のとおり					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップも目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおり					
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			情報共有できる環境であるため、定期カンファレンスの機会は設けていない ただし、必要に応じて話し合いの場を設けるとともにICT（LINEWORKSやMeLL+）を活用し、情報共有・相互理解に努めている	自己評価のとおり					

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

8年度(作成日：令和8年 8月 17日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおり		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			通常開催をしている。報告資料をもとに助言等をもらい必要な対応をしている	自己評価のとおり		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有 のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡を心掛けている	自己評価のとおり		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおり		

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

8年度(作成日：令和8年 8月 17日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおり					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおり					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識（自立支援を意識）した計画作成を心掛けている	自己評価のとおり					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。（サービス評価・モニタリング時） 「未来志向型」の計画作成に努めたい	自己評価のとおり					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	困ったときにはいつでも対応してもらえる安心感がある					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおり					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

8年度(作成日：令和8年 8月 17日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおり		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて指導・助言を受けている	自己評価のとおり		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおり		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおり		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理														
(1) 共同ケア管理の実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおり					
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおり					
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおり					
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおり					
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、退院前・退院時カンファレンスへの参加やICT導入・活用により、介護スタッフの介入も増えている	自己評価のとおり					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		コメント
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント						
				実施状況				コメント							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない								
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画															
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案															
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録などをホームページに掲載している	自己評価のとおり						
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおり						
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画															
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおり						
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定していない主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおり						
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおり						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々であるが、生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおり
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおり

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続のための支援」を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおり
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のため の取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおり
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、法人内外の研修を含めた研修計画を作成している 自己学習の推進のため、専門誌の定期購読・配信動画視聴を実施	自己評価のとおり
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップも目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおり
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			情報共有できる環境であるため、定期カンファレンスの機会は設けていない ただし、必要に応じて話し合いの場を設けるとともにICT（LINEWORKSやMeLL+）を活用し、情報共有・相互理解に努めている	自己評価のとおり

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおり		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			通常開催をしている。報告資料をもとに助言等をもらい必要な対応をしている	自己評価のとおり		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有 のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡を心掛けている	自己評価のとおり		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおり		

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおり					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおり					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識（自立支援を意識）した計画作成を心掛けている	自己評価のとおり					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。（サービス評価・モニタリング時） 「未来志向型」の計画作成に努めたい	自己評価のとおり					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおり					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおり					

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおり		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて指導・助言を受けている	自己評価のとおり		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおり		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおり		

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日:令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおり
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおり
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおり
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおり
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			これまで新型コロナウイルスの影響でカンファレンスや退院前訪問等に参加できないことがあったが、zoom等、ICTの導入・使用によって改善された点もあった 入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、介護スタッフの介入も増やして	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおり

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R7年度(作成日：令和7年10月1日)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおり
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおり
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおり
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定していない主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおり
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		コメント
III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々であるが、生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおり
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続のための支援」を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおり					
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおり					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、法人内外の研修を含めた研修計画を作成している 自己学習の推進のため、専門誌の定期購読・配信動画視聴を実施	自己評価のとおり					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップを目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおり					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			情報共有できる環境であるため、定期カンファレンスの機会は設けていない しかし、必要に応じて話し合いの場を設けるとともにICT（LINEWORKSやMeLL+）を活用し、情報共有・相互理解に努めている	自己評価のとおり					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおり		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、通常開催をしている。報告資料をもとに助言等をもらい必要な対応をしている	自己評価のとおり		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有 のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡を心掛けている	自己評価のとおり		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおり		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおり					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおり					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識（自立支援を意識）した計画作成を心掛けている	自己評価のとおり					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。（サービス評価・モニタリング時） 「未来志向型」の計画作成に努めたい	自己評価のとおり					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおり					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおり					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおり		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて指導・助言を受けている	自己評価のとおり		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおり		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおり		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおり		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理														
(1) 共同ケア管理の実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおり					
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおり					
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおり					
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおり					
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			これまで新型コロナウイルスの影響でカンファレンスや退院前訪問等に参加できないことがあったが、zoom等、ICTの導入・使用によって改善された点もあった 入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、介護スタッフの介入も増やして	自己評価のとおり					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント						
				実施状況				コメント							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない								
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画															
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案															
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおり						
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおり						
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画															
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおり						
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定していない主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおり						
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおり						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R6年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		コメント
III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々であるが、生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおり
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおり

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続のための支援」を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおりである。					
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のため の取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおりである。					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、法人内外の研修を含めた研修計画を作成している zoomによる定期的な学習会の開催や自己学習の推進のため、専門誌の定	自己評価のとおりである。					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップを目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおりである。					
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			定期カンファレンスの機会は設けていないが、一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境である。必要に応じて話し合いの場を設けるとともにICT（LINEWORKSやMeLL+）を活用し、情報共有している。	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、早朝から夜間まで幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおりである。		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			新型コロナウイルスの影響で、書面開催としている（報告資料・アンケートの送付） アンケート結果（要望や助言等）を元に必要な対応を講じている	自己評価のとおりである。		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有 のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡に心掛けている	自己評価のとおりである。		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおりである。					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおりである。					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている	自己評価のとおりである。					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。	自己評価のとおりである。					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおりである。					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおりである。		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて看護スタッフ等から指導・助言を受けている	自己評価のとおりである。		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおりである。		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理														
(1) 共同ケアマネジメントの実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおりである。					
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービスの活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおりである。					
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおりである。					
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおりである。					
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			新型コロナウイルスの影響でカンファレンスや退院前訪問等に参加できなかったことがあったが、zoom等、ICTの導入・使用によって改善された点もあった 入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、今後、介護スタッフの介入も増	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画														
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案														
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおりである。					
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおりである。					
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画														
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおりである。					
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定せず、笛吹市全域を対象としたサービスを展開している。	自己評価のとおりである。					
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおりである。					

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R5年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない	
コメント								

III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々である。 生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおりである。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続のための支援」を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおりである。
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のため の取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおりである。
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、法人内外の研修を含めた研修計画を作成している zoomによる定期的な学習会の開催や自己学習の推進のため、専門誌の定	自己評価のとおりである。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップを目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおりである。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境であるが、定期カンファレンスの機会は設けていない 必要に応じて話し合いの場を設けるとともにICT（LINEWORKSやMeLL+）を活用し、情報共有・相互理解に努めていきたい	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、早朝から夜間まで幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおりである。
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			新型コロナウイルスの影響で、書面開催としている（報告資料・アンケートの送付） アンケート結果（要望や助言等）を元に必要な対応を講じている	自己評価のとおりである。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有 のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡に心掛けている	自己評価のとおりである。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおりである。
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおりである。					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおりである。					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている	自己評価のとおりである。					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。	自己評価のとおりである。					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおりである。					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおりである。		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて看護スタッフ等から指導・助言を受けている	自己評価のとおりである。		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおりである。		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理														
(1) 共同ケアマネジメントの実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおりである。					
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおりである。					
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおりである。					
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおりである。					
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			新型コロナウイルスの影響でカンファレンスや退院前訪問等に参加できなかったことがあったが、zoom等、ICTの導入・使用によって改善された点もあった 入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、今後、介護スタッフの介入も増	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		コメント
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおりである。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおりである。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおりである。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定せず、主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおりである。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない	
コメント								

III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々である。 生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおりである。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続のための支援」を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおりである。					
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおりである。					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため、 法人内外の研修を含めた 研修計画を作成している zoom による定期的な学習会の開催や自己学習の推進のため、専門誌の定	自己評価のとおりである。					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮するとともに、スキルアップを目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおりである。					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境であるが、 定期カンファレンスの機会は設けていない 必要に応じて話し合いの場を設けるとともに ICT (LINEWORKSやMeLL+) を活用し、 情報共有・相互理解 に努めていきたい	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、早朝から夜間まで幅広い時間帯の訪問・ニーズに対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおりである。		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			新型コロナウイルスの影響で、書面開催としている（報告資料・アンケートの送付） アンケート結果（要望や助言等）を元に必要な対応を講じている	自己評価のとおりである。		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・共有の ための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				ICTの導入により、グループ・施設内事業所間でタイムリーな情報の更新・共有を図っている 外部事業所にも電話やメールで円滑な連絡に心掛けている	自己評価のとおりである。		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習や災害時の対応について定期的に職員研修を開催 事業継続計画書を作成し、防災や大規模災害訓練も実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映している 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおりである。					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおりである。					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識（自立支援を意識）した計画作成を心掛けている	自己評価のとおりである。					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測や在宅におけるリスク管理について検討している。（サービス評価・モニタリング時） 「未来志向型」の計画作成に努めたい	自己評価のとおりである。					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおりである。					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおりである。		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			医療知識の習得とサービス提供のため、利用者の病状や心身機能について報告・相談しながら、必要に応じて指導・助言を受けている	自己評価のとおりである。		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおりである。		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）への適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおりである。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおりである。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができる	自己評価のとおりである。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおりである。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			新型コロナウイルスの影響でカンファレンスや退院前訪問等に参加できなかったことがあったが、zoom等、ICTの導入・使用によって改善された点もあった 入院・入所時の情報提供は、主に看護師が中心となって実施されているが、介護スタッフの介入も増やして	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおりである。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会を開催したサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成・配布 YouTube動画配信やFacebookに記事をUPしている	自己評価のとおりである。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおりである。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定せず、主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおりである。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用するとともに他の市町村の当該事業者との新たな情報交換の場を設けていきたい	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない	
コメント								

III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々であるが、生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおりである。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			施設全体において「生活機能の維持・向上」や「自立した在宅生活の継続」のための支援を理念・基本方針としている 当該事業所も『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げ、理念を明確化して	自己評価のとおりである。					
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のため の取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			事業所の理念や目標、当該サービスの特徴について理解を深め、質の高いサービス提供ができるよう指導・助言の場を設けている	自己評価のとおりである。					
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎年目標シートを作成し、スキルアップに取り組むとともに、スタッフの学習の場を確保するため研修計画を作成している 定期的な学習会の開催や自己学習の推進のため、専門誌の定期購読も実施	自己評価のとおりである。					
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			能力が十分発揮されるよう経験や知識・技術に合わせた職員配置を考慮しするとともに、スキルアップを目的とした同行訪問を適宜実施している	自己評価のとおりである。					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境である 今後も会議や学習会の場を設けていくとともにICTを活用し、相互理解に努めたい	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				シフト制を継続し、早朝から夜間まで幅広い時間帯の訪問に対応できるよう柔軟な配置を実施している	自己評価のとおりである。		
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			新型コロナウイルスの影響で、書面開催としている（報告資料・アンケート送付） アンケート結果（要望や助言）を元に必要な対応を講じている	自己評価のとおりである。		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る 情報の随時更新・ 共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている		○			関係者間で社内メールや事業所間カンファレンス等を活用し、情報の更新・共有を行っている 外部事業所には電話での連絡対応となっている	自己評価のとおりである。		
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			安全運転講習会や災害時の対応について学習会を開催 施設における事業継続計画書を作成した	自己評価のとおりである。		
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている		○			個人情報保護規定に沿って、利用者情報等の適切な取り扱いがされるとともに、スタッフに周知されている	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映させている 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映できる仕組み作りを進めたい	自己評価のとおりである。					
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護の担当者がアセスメントを実施し、内容について点検・検討する機会を設けている	自己評価のとおりである。					
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている	自己評価のとおりである。					
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測やリスク管理が検討できるようになってきている 「未来志向型」の計画作成に努めたい	自己評価のとおりである。					
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている	自己評価のとおりである。					
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している	自己評価のとおりである。					

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況				コメント	
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的かつ効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している	自己評価のとおりである。		
②	看護職によるサービス提供に関する指導・助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導・助言が行われている		○			定期的に学習会を開催し、必要な知識の習得のため指導を受けている また必要に応じて相談し、指導・助言をもらえる体制ができている	自己評価のとおりである。		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス提供前やサービス契約時やに、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成の流れ等、情報提供・説明を実施している	自己評価のとおりである。		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している	自己評価のとおりである。		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			利用者の状況に合わせた対応やケアについて、介護者（家族等）に対適時適切な報告・相談を実施している	自己評価のとおりである。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的管理									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている	自己評価のとおりである。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている	自己評価のとおりである。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			普段から利用者情報を積極的に多職種へ情報提供している 担当者会議では生活・身体状況の変化や目標の達成度を伝えることができています	自己評価のとおりである。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		主にサービス担当者会議の際、災害時の安否確認や避難協力等の支援・方法について、ケアマネジャーを含め多職種で検討するようにしている	自己評価のとおりである。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）		○			新型コロナウイルスの影響でカンファレンスに参加できず、直接利用者情報のやりとりができない状況があった。 入院・入所時の情報提供は、看護師が中心となって実施されている 今後は介護スタッフの介入も増やしていきたい	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）としては「連携」を意識して、専門職が適時適切なサービス提供や情報発信・共有に努めている 施設や事業所の枠を超えた連携が今後もっと必要になってくると考えられる	自己評価のとおりである。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画														
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案														
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録や報告資料をホームページに掲載している	自己評価のとおりである。					
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		新型コロナウイルスの影響で、ケアマネジャー・病院相談員等を対象としたサービス説明会が開催できなかった代替案としてサービス・事業所パンフレット（営業用）の作成やYouTube動画の制作を考えている	自己評価のとおりである。					
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画														
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している	自己評価のとおりである。					
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等に限定せず、主に地域提供型サービスを展開している。	自己評価のとおりである。					
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができない状況である 笛吹市事業者連絡会の場を活用していきたい	自己評価のとおりである。					

[illegible]

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション

R2年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
コメント									
III結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」、「自宅における看取り」等、計画目標は利用者によって様々であるが、生活状況や身体状況、ニーズをアセスメントし、目標やケアに反映させることで達成を図っている	自己評価のとおりである。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			在宅生活を継続する中で、当該サービスが24時間対応可能であるという点は、利用者や家族の安心に繋がっていると思われる	自己評価のとおりである。

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない							
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]														
(1) 理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げることで理念を明確化している						
(2) 適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				スタッフ個々が、事業所の理念や目標を理解し、当該サービスの特徴についても理解を深め、より質の高いサービス提供を目指していけるよう取り組んでいる						
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			年間の研修計画を作成し、スタッフの学習の場を確保するとともに、事業所会議で定期的に学習会を開催している また月刊誌を購入し、自己学習も推進している						
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				スタッフの能力が十分発揮されるよう経験や能力に合わせた配置を考慮するとともに、同行訪問を実施することでスタッフ間の指導体制を組んでいる						
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境である。また本年度より定期巡回の担当看護師（窓口）を決め、相互理解を深めるよう取り組んでいる						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない		コメント
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、 最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				一昨年度よりシフト制を導入し、早 朝から夜間までの訪問に対応（柔軟 なサービス提供）できるよう人材配 置している	
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得 られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、 改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させて いる	○				適時適切な開催がされている 要望や助言に対しても随時対応して いる	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係 る情報の随時更新・ 共有のための環境整 備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で ）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫さ れている	○				関係者間で社内メールや事業所間カン ファレンス等を活用し、情報の更 新・共有を行っている 外部事業所等には電話での連絡で対 応している	
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の 構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（ 交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				施設の事業継続計画書や事業所の災 害対応手順書を作成 安全運転講習会や災害時の対応につ いての学習会を開催している	
②	利用者等の個人情報の 保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱 いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に 、管理者や職員において共有されている	○				利用者にかかわる書類の取り扱いの ルールを決め、周知されている	

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映させている 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映仕組み作りを進めたい						
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				介護・看護の担当でアセスメントを実施し、内容について検討する機会を設けている						
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている						
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測やリスク管理が検討できるようになってきている 「未来志向型」の計画作成に努めたい						
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている						
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況			コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い			全く でき て い ない
	反映							またそれらを踏まえ、新たな課題を 計画に反映するよう努めている	

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かっている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的で効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している			
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			定期的に学習会を開催し、必要な知識の習得のため指導を受けている また必要に応じて相談し、助言をもらえる体制ができています			
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス契約時やサービス提供前に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成等、情報提供と説明を実施している			
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している			
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				介護者（家族等）に対し、適時適切な報告・相談を実施している			

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント														
(1) 共同ケアマネジメントの実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている						
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				利用者の状況に応じて、サービス（フォーマル・インフォーマル）の活用等、プランに対して積極的に提案をしている						
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議以外にも普段から利用者情報を積極的に発信し、必要に応じてカンファレンスを開催するなど、多職種への情報提供を行なっている						
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的なマネジメントへの貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）		○			地域住民（民生委員等）をはじめ、災害時の安否確認や避難協力等の支援について、ケアマネジャーを含め多職種での検討に着手した						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）	○				退所・退院前のカンファレンスに参加し、必要な情報の共有や対応の検討を実施している 利用者に応じて退院時共同指導加算を算定している						
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）として「連携」を意識してサービス提供するとともに、専門職が適時適切に関わり、多職種へ発信・共有できるよう努めている						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき て い ない							
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画														
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案														
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録をホームページに掲載している						
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域の居宅ケアマネジャーや施設の職員（多職種）を対象とした定期巡回サービス説明会を開催 一層の広報周知に取り組みたい						
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画														
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している						
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等には限定せず、地域提供型サービスを展開している。						
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会（ネットワーク）がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができていない状況である						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		

III結果評価（Outcome）

①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」という観点ではどの利用者も目標の達成ができている 今後は保険外サービスやインフォーマルケア等も視野に入れた計画目標の作成とその達成に努めていきたい	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				24時間対応（相談を含め）サービスという点で、利用者や家族の十分な安心感が得られている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
I 構造評価（Structure） [適切な事業運営]														
（１）理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げることで理念を明確化している						
（２）適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				実際の利用者サービスを踏まえ、スタッフ個々が当該サービスの特徴について理解を深め、より質の高いサービス提供を目指している						
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				研修計画を作成し、スタッフの学習の場を確保するとともに、事業所会議で定期的に学習会を開催している また月刊誌を購入し、自己学習も推進している						
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				上記の研修や学習会等に併せて、スタッフの能力を十分に発揮できるよう経験や能力に合わせた配置を検討している						
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報を共有できる環境である。今後ともよりタイムリーなサービス対応ができるよう努めていきたい						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く でき てい ない				
(3) 適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、 最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			利用者増加に伴い、柔軟なサービス 提供ができるよう人材配置や整備に 努めていきたい			
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得 られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、 改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させて いる	○				適時適切な開催がされている 要望や助言に対しても随時対応して いる			
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係 る情報の随時更新・ 共有のための環境整 備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で ）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫さ れている	○				関係者間で社内メールや事業所間カ ンファレンス等を活用し、情報の更 新・共有を行っている			
(5) 安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の 構築等、事業所において具体的な対策が講じられている（ 交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等）		○			施設内の安全や災害に関する学習会 に参加している 災害伝言ダイヤルを用いた災害時の 対応について、定期的に演習を行 っている			
②	利用者等の個人情報 の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱 いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に 、管理者や職員において共有されている	○				利用者にかかわる書類の取り扱いの ルールを決め、周知されている			

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く でき てい ない							
II過程評価（Process）														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映させている 今後は利用している他のサービスからの情報も反映できるよう取り組みたい						
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			担当者で実施している						
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている						
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		利用者の現状に沿った（対する）計画になりがちである 利用者の状況に合わせて、多職種での定期的な検討（カンファレンス等）を重ね、「未来志向型」にシフトしていく必要がある						
（2）利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟な運営に努めている						
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフの定期的な訪問と介護・看護の継続的なモニタリングを実施し、利用者等の状況変化を把握している						

自己評価・外部評価 評価票

H29年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		
	反映							またそれらを踏まえた新たな課題を 計画に反映できるよう努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く でき てい ない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせて専門職が関わるよう分担してサービス提供している			
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			定期的に学習会を開催し、必要な知識の習得のため指導を受けている また必要に応じてすぐに相談し、助言をもらえる体制作りを行っている			
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス契約時に情報提供と説明を実施している			
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書交付の際、目標と内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している			
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				担当ケアマネジャーも含め、適時適切な報告・相談を実施している			

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く でき てい ない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント														
(1) 共同ケアマネジメントの実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的なモニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行っている						
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○			地域内のサービス（フォーマル・インフォーマル）の活用も含め、より積極的な提案が必要である						
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議以外にも必要に応じてカンファレンスを開催するなど、積極的な情報提供を行っている						
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的なマネジメントへの貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている（※任意評価項目）			○		保険外サービスやインフォーマルケア等の活用についても、今後カンファレンス等を通じて多職種で検討していきたい						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）	○				退所・退院前のカンファレンスに参加し、必要な情報の共有や対応の検討を実施している 利用者に応じて退院時共同指導加算を算定している						
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）		○			施設（各事業・サービス）として「連携」を意識した取り組みに着手している 専門職が適時適切に関わり、多職種等へ発信できる流れを構築した						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない							
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画														
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案														
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				議事録をホームページに掲載している						
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			定期巡回サービスについて、笛吹市広報に掲載された。サービスの知名度向上のため、今後もより積極的な広報周知が必要である						
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画														
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している						
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等には限定しておらず、広く地域に展開している。						
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○		県内の定期巡回サービス事業所との情報交換からサービスの現状等を関係者間で共有している（他事業所の見学実施）今後より広い関係者間で情報を共有し、具体的な課題提起や改善策の提案等に繋げていく必要がある						

自己評価・外部評価 評価票

H29年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く でき てい ない		

III結果評価 (Outcome)

①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」という観点ではどの利用者も目標の達成ができています 今後は保険外サービスやインフォーマルケア等も視野に入れた計画目標の作成とその達成に努めていきたい	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				24時間対応（相談を含め）サービスという点で、利用者や家族の十分な安心感が得られている	